

# ご存知ですか？

## 千代田区都市計画マスタープランが改定されます

### - 番町の町並みを守る会よりオンライン勉強会のお知らせ -

千代田区は現在、区の都市計画の指針である都市計画マスタープランの改定作業を進めています。この一環として、先週木曜日には麹町中学校にて公聴会が開催されました。区役所としては今後更に住民の意見を募り、来年三月末にはプランを完成させる予定です。一方、日本テレビ旧本社ビルの解体工事は着々と進んでおり、年明けには跡地開発に向けて具体的な動きが出てくるものと思われます。都市計画マスタープランが日テレ通り沿道の開発にどのような影響を与えるのか？番町の良質な住宅街・文教地区を守るために何をすればよいのか？皆様と共に考えたいと思います。専門家のお話を伺った後、パネルディスカッションを行います。下記要領でウェブ (Zoom) にて開催致します。多くの方のご参加をお待ちしています。

## 第15回 勉強会 ウェブ (Zoom) 開催

千代田区都市マスタープランの改定と日テレ通り沿道の再開発について  
～徹底検証～

日時： **12月6日 (日曜日) 14:00～15:30**

講師：大澤昭彦 高崎経済大学地域政策学部准教授

都市計画・景観計画の専門家で「高さ制限とまちづくり」(学芸出版社、2014年)など都市計画の高さ制限についての著書も多く執筆されています。改訂中の千代田区都市計画マスタープランと、地区計画について詳しく分析・解説していただきます。

右のQRコードまたは下記リンクからZoomページへ入ってください。

Zoom リンク <https://us02web.zoom.us/j/84770231452>

ミーティングIDは 847 7023 1452 です。



Zoom用QRコード

尚、番町内の女子中学校・高等学校である、女子学院、大妻、雙葉の3校の校長先生が連名で区長・区議会議員長等に宛て、番町の文教地区としての教育環境および安全を守り、高さ制限の維持と日テレ通り沿道の超高層ビルの建設に反対する趣旨の要望書を提出されました。学校の承諾を得て全文を番町の町並みを守る会のHPに掲載致しました。是非、ご覧ください。

主催：番町の町並みを守る会

〒102-0085 東京都千代田区六番町4-11 朝日六番町マンション501号

HPは：<https://bancho-machinami.com/> お問い合わせは：[infobancho@machi-kaeru.com](mailto:infobancho@machi-kaeru.com)

※お送りいただきましたメールは「番町の町並みを守る会」の活動に関するご連絡以外の目的では使用致しません。

# 「番町の町並みを守る会」の提言

番町の町並みを守る会は、過去二年余に亘り、日テレ通り沿道のあり方について日本テレビ並びに区役所に対し要望を行なってまいりました。その趣旨は下記の通りです。今後とも色々な立場の方々と話し合いを行い、区役所に意見を届け、番町をより良い町にしていきたいと思っております。

1. 千代田区は、世界一級のビジネス街である大手町・丸の内、国政の中心霞ヶ関、江戸の伝統を引き継ぐ神田の商業地域、閑静な住居街・文教地区である麹町・番町など各地域が皇居の緑を囲む多様性に溢れた区です。それぞれの地域が個性を伸ばすことで、千代田区をさらに魅力ある区にすることが出来ます。

2. 住宅街・文教地区としての麹町・番町の位置付けは、新しい千代田区都市計画マスタープランにおいても変えるべきではありません。都市計画マスタープランに基づき制定されている地区計画の制限を超えて、日テレ通り沿道に超高層ビルを建て、更なる繁華街の賑わいを呼び込む事が計画されていることに私達は大きな懸念を抱いています。

3. 日本は少子化対策として近年、経済を優先させ、規制緩和により東京の一極集中を推進してきました。その発想をそのまま日テレ通り沿道の再開発に導入すべきでしょうか？コロナ後の都市の在り方について政府も新たな取り組みを始めています。ビルの大きさや高さ、人の集積を追求する町づくりはもはや時代遅れではないでしょうか？

4. 旧日テレ本社は10階建て、高さ約40メートルのビルでした。この広大な跡地に、現在の地区計画で許されている高さ60メートルの商業ビルを建てるだけでも住宅街に大きな影響を与えるでしょう。ましてや、地区計画の制限を超える超高層ビルが建設された場合、片側一車線の日テレ通りは車で溢れ、麹町駅の混雑は更に厳しいものになるのではないかと危惧します。

5. 日テレ通り沿道の二番町、四番町には住民の合意の下、区役所が制定した地区計画があります。地区計画は町の現状を踏まえて作られたものです。大手地権者もディベロッパーも、この地区計画を遵守した開発計画を考えねばなりません。

6. 日テレ通り沿道再開発に当たり、地下鉄駅のバリアフリー化（エレベーター・エスカレーターの設置）の見返りとして、ビルの高さ制限の緩和が提案されているようですが、そもそも地下鉄へのアクセス確保は新ビルの価値を高める為には必須であり、地域貢献として、何らかの見返りを求める大義名分にはなりません。

7. 盆踊りの会場や避難場所として使える広場が欲しいという意見もあります。しかしながら、商業ビルを作る以上、そのビルで働く人々の安全を確保する事はビルオーナーの責任です。又、番町地区には避難場所となる多くの学校があります。超高層ビルの真下の広場はビル風が強く、ガラスの落下などにより地震の際の避難場所には適しません。

「番町の町並みを守る会」は過去14回の勉強会を通して、住民の皆様と共に考えて参りました。地元の意見を行政に伝えて行くために引き続き努力をしてまいります。

私たちの活動については「番町の町並みを守る会」ホームページをご覧ください。

<https://bancho-machinami.com>



ホームページ QRコード